

# 令和5年度第4回市町等教育長会議資料（2月15日差し替え）

## 目次

### 【説明項目】

- 1 令和6年度当初予算（案）の概要について
- 2 「三重県教育ビジョン（仮称）」最終案について
- 3 能登半島地震支援に関する三重県災害時学校チームの派遣について・・・1
- 4 公立小中学校の教職員配置と専門人材・地域人材の活用について
- 5 コンプライアンスの推進について
- 6 メンタルヘルスコンシェルジュ事業について
- 7 学力の向上について
- 8 県立夜間中学について
- 9 県立高等学校入学者選抜の再募集における応募資格の今後の取り扱いについて・・・6
- 10 三重県人権教育基本方針の改定について
- 11 令和6年度「みえ祭協力隊」の公募について

### 【配布項目】

- 12 三重県部活動ガイドラインおよび新たな地域クラブ活動方針について
- 13 令和6年度トップリーダーマネジメント研修について

別冊1 三重県教育ビジョン（仮称）（最終案）

別冊2 「三重県教育ビジョン（仮称）」の策定に関するアンケート結果概要

別冊3 三重県部活動ガイドラインおよび新たな地域クラブ活動方針



### 3 能登半島地震支援に関する三重県災害時学校チームの派遣について

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の支援として、三重県は、石川県輪島市をカウンターパートとして総合的に支援を行っています。輪島市内では学校関係においても甚大な被害が発生しており、市内全ての小中学校、県立高校で通常の授業が実施できない状況が続いています。このため、三重県教育委員会では、災害時の学校運営に関する研修等を受講した教職員により構成する「三重県災害時学校支援チーム」を輪島市の学校に派遣し、学校の早期再開に向けた支援を行っています。

#### ※三重県災害時学校支援チーム

災害時の学校運営に関する専門的な知識や実践的な対応能力を備える教職員を育成し、県内外の大規模災害時に被災した学校の早期普及を支援するチームとして、令和3年1月15日に発足。現在の隊員数は83名。

#### 【隊員の内訳】

小学校44名、中学校15名、高校8名、特別支援学校8名、県教委7名、市教委1名

#### 1 輪島市への派遣状況

##### (1) 先遣隊の派遣

令和6年1月10日（水）～11日（木）

三重県教育委員会事務局職員2名を輪島市に派遣。輪島市教育委員会、輪島市内の学校を訪問し、被災状況や支援ニーズなどの情報収集を行う。

##### (2) 本隊の派遣

#### 【派遣方針】

- ・ 隊員3名による派遣チームを編成し、順次派遣します。なお、第7次隊からは「隊員2名+サポート隊員1名」で派遣チームを編成します。
- ・ 隊員の派遣期間は1週間とします。現地で前の隊から引継ぎを受けて活動します。
- ・ 市町等教育委員会を通じて隊員に派遣可能時期を照会し、隊員が所属する学校長に派遣の可否を確認したうえで、派遣する隊員を決定します。現在、第10次隊までの派遣を調整済です。

#### 【派遣】

第1次：調整隊 令和6年1月19日（金）から26日（金）

三重県教育委員会事務局職員2名派遣

本隊 令和6年1月20日（土）から26日（金）

鈴鹿市小学校養護教諭1名、松阪市小学校教諭1名

大台町中学校主事1名

- 第2次：令和6年1月25日（木）から1月31日（水）  
三重県教育委員会事務局職員1名、熊野市中学校教諭1名  
南勢教育支援事務所職員1名
- 第3次：令和1月30日（火）から2月5日（月）  
桑名市小学校養護教諭1名、四日市市中学校教諭1名  
尾鷲市小学校教諭1名
- 第4次：令和6年2月4日（日）から2月10日（土）  
四日市市小学校教諭1名、鈴鹿市小学校教諭1名  
県立特別支援学校教諭1名
- 第5次：令和6年2月9日（金）から2月15日（木）  
多気町立中学校教諭1名、度会町立小学校指導教諭1名  
名張市立小学校教諭1名
- 第6次：令和6年2月14日（水）から2月20日（火）  
亀山市立小学校教諭1名、大台町立小学校主任1名  
県立高等学校教諭1名
- 第7次：令和6年2月19日（月）から2月25日（日）  
（隊員）  
名張市立小学校教諭1名、県立高等学校教諭1名  
（サポート隊員）  
亀山市立小学校養護教諭1名
- 第8次：令和6年2月24日（土）から3月1日（金）  
（隊員）  
桑名市立中学校教諭1名、伊賀市立小学校教諭1名  
（サポート隊員）  
松阪市立小学校講師1名
- 第9次：令和6年2月29日（木）から3月6日（水）  
（隊員）  
鈴鹿市立小学校教諭1名、名張市立小学校教諭1名  
（サポート隊員）  
県立高等学校教諭1名
- 第10次：令和6年3月5日（火）から3月11日（月）  
（隊員）  
津市立中学校教諭1名、紀北町立小学校教諭1名  
（サポート隊員）  
県立高等学校教諭1名

※第10次隊までに派遣する32名（隊員、サポート隊員）の内訳

小学校：16名 中学校：7名 県立高校：4名

県立特別支援学校：1名 県教委：4名

※輪島市内の学校の状況を踏まえて、第11次隊以降も検討します。

### 【活動内容】

輪島市教育委員会からの要請を受けて、輪島市門前地区の学校再開の活動を支援しています。

門前地区には2小学校（門前東小、門前西小）と1中学校（門前中学校）がありますが、1月24日（水）から門前東小学校の校舎に2小学校、1中学校の児童生徒が登校して、学校活動を再開しました。

三重県災害時学校支援チームは、門前地区の各学校長および教職員と意見交換しながら、門前東小学校において、次の支援活動を行っています。

#### ①学校再開に向けた事前準備支援

- ・ 2小学校、1中学校の児童生徒を迎えるにあたって、校内の整備、片付け（倒れたロッカーや書庫、金庫などの整理。書類や図書などの片付け、整理。オンライン授業に向けた通信環境の整備等）
- ・ 各学校の活動場所の配置調整、机や椅子、学習用具などの準備
- ・ オンライン授業実施に向けた環境整備
- ・ 再開後の校内での生活ルールづくり
- ・ 児童生徒用仮設トイレの設置、トイレの使用ルールの作成
- ・ 児童生徒の健康チェックの実施方法の検討 など

#### ②再開後の学校活動の支援

- ・ 登下校時の交通指導
- ・ 現地教員の授業支援、オンライン授業のサポート
- ・ 児童生徒の心のケアに向けた取組（心のケア授業のサポート、保護者向けの心のケアの留意点などをまとめた通信の作成、児童生徒から相談を受ける体制づくり 等）
- ・ 特別支援学級の児童の支援
- ・ 現地教員の代替で授業実施（体育等） など

#### ③その他

- ・ 学校事務の支援（教科書再給与冊数調査、不足学用品の調査や調達、児童生徒の転校手続き 等）
- ・ 教職員の災害見舞金請求事務等の支援
- ・ 熊本県災害時学校支援チームと連携して、輪島市中心部の学校再開に向けた支援（輪島高校の清掃 等） など

※活動内容、活動場所については、輪島市教育委員会と随時意見交換を行い、支援ニーズを踏まえて臨機応援に対応していきます。

## 2. 今後の取組予定

輪島市内の学校は、再開できる準備が整った学校から順次、児童生徒の受け入れを行い、2月6日（火）に全ての小中学校で学校活動を再開しました。2月13日（火）からは給食（炊き出し、弁当配布）が始まるなど、少しずつ学校活動の範囲が広がっています。

一方で、地区内の複数の学校が集まっての再開のため、地震前とは異なる学校への登校、複数学校の児童が集まった新しいクラス、初めて会う他校の先生との授業など、児童生徒は新しい環境に戸惑いながら学校生活を過ごす様子が見られます。また、児童生徒が登校する学校も、施設の一部は避難所として利用されており、体育館や運動場は自衛隊等が利用しているため、児童生徒は休み時間は教室か廊下でしか過ごすことができず、体育の授業も声を抑えて実施するなど、厳しい学習環境となっています。教職員も十分に準備ができないまま授業に臨むなど、試行錯誤の学校運営を行っています。

このような状況の中、輪島市では通常どおりの学校活動が再開される見通しはたっており、また、今後は卒業式や入学式等の行事対応も必要なこともあり、輪島市教育委員会からは三重県災害時学校支援チームの派遣継続の要請を受けています。三重県教育委員会では、引き続き、輪島市教育委員会の他、石川県教育委員会や他県の災害時学校支援チームなどとの連携を密にしなが、輪島市での三重県災害時学校支援チームの支援活動に取り組んでいきます。

### 【今後の隊員派遣について】

現在、第10次隊（3月5日～11日）までの派遣を調整済ですが、引き続き、第11次隊～第14次隊までの派遣を検討する予定です。第11次以降の隊を派遣する場合には、改めて、各市町等教育委員会を通じて各隊員に派遣の可否を照会し、派遣隊員を決定します。

また、三重県災害時学校支援チームの輪島市への派遣が長期化することを見据えて、現地で隊員と一緒に活動していただけるサポート隊員を募集したところ、急な照会にも関わらず、20名の小中学校の教職員の方に応募いただきました。（県立学校の教職員を合わせると、45名の応募）。

サポート隊員にも、第7次隊から各隊に1名ずつ加わっていただいておりますが、第11次以降の隊を派遣する場合にも、各市町等教育委員会を通じてサポート隊員に派遣の可否を照会させていただき、派遣を依頼させていただく予定です。

年度末に向けての多忙な時期になりますが、隊員及びサポート隊員の派遣について、ご理解、ご協力いただくとともに、派遣されている期間の所属校への支援等についてもご配慮いただきますよう、お願いいたします。

(派遣を検討予定の日程)

第1.1次：令和6年3月10日～16日

第1.2次：令和6年3月15日～21日

第1.3次：令和6年3月20日～26日

第1.4次：令和6年3月25日～31日

## 9 県立高等学校入学者選抜の再募集における 応募資格の今後の取り扱いについて

入学者選抜制度検討会（※）では、県公私立高等学校協議会からの申し入れを受けて、令和4年度から再募集のあり方について協議を続けてきました。新たな再募集の応募資格については年度内にまとめる予定です。

（※）令和5年度は、学識経験者、有識者、企業関係者、PTA（小中・高校）、市町教委代表公立・私立の学校関係者の14人で構成

### 1 現在の状況

#### ○再募集の応募資格（「実施要項」より）

- ・「三重県立高等学校入学者選抜において合格した者は、志願できない。」としています。

#### ○再募集の受検状況（全日制課程）

- ・令和5年度選抜では、募集人数に満たなかった28校43学科・コースにて再募集を実施し、94人が受検しています。

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受検者数	18校205人	21校130人	24校149人	22校119人	22校94人

#### ○再募集を受検した生徒の状況

- ・令和4年度選抜及び令和5年度選抜で、受検者数が募集人数を超えた4校について、再募集を受検した生徒の状況を調査した結果、「私立高校に合格している生徒」が合格する一方で、「どこにも合格していない生徒」が再募集でも不合格となった事例がありました。

### 2 検討会での協議

- ・再募集で不合格となった「どこにも合格していない生徒」は、私立高校を受験できない家庭の事情が背景にあるなど、教育的に不利な環境のもとにありました。
- ・検討会では、どこにも合格できなかったことを、「本人の努力不足」や「子育ては家庭の問題」等、自己の責任や家庭の責任の問題としてとらえるのではなく、家庭の経済状況が子どもの進路や学力に影響を及ぼしている「子どもの貧困問題」の事象のひとつであると考えました。
- ・また、現行制度のままでは、今後も同様の事態が想定されるため、誰一人取り残さない教育を推進する観点から、受検生（生徒）の立場に立ち、現行の再募集のあり方自体を見直すべきであると考えました。
- ・再募集が、高校に合格していない者にとって、家庭の経済状況にかかわらず、高校に進学するための最後の受検機会となるよう、次の案について協議しています。



### 3 再募集の応募資格（案）

再募集を志願できる者は次の①、②の2つの要件を満たす者とする。

- ① 三重県立高等学校の入学選抜に合格していない者。ただし、合格していても入学辞退届を提出した者は志願できる。
- ② 県内外の国・私立の高等学校等（高等専門学校を含む）のいずれにも合格していない者。ただし、合格していても「最終の入学手続き」をしていない者は志願できる。

なお、②については、「最終の入学手続き」をしていても、以下のいずれかの要件を満たす者は志願できる。

- ・職業学科や総合学科、体育の専門学科、芸術の専門学科・コースを志願する者
- ・やむを得ない事情があり、中学校等の校長がその事情を認める者

#### <応募資格の見直しに関する委員からの主な意見>

- 前期・後期選抜は行ける学校を志願する生徒もいれば、行きたい学校に志願する生徒もいる。一方で、再募集は行きたい学校にチャレンジする機会であるよりも、どこにも合格していないが高校で学びたいと思う生徒にとって、最後のチャンスであるべきである。
- 再募集のあり方は、当初は私学の経営問題から協議が始まったが、どの高校にも合格しておらず、学ぶ機会を求める生徒に対して、ありとあらゆる努力をして、その機会を設定するという方向性は正しいと考える。

### 4 再募集の応募資格（案）についての補足説明

#### ① 県立高校の入学辞退による再募集の応募について

- ・これまで県立高校を入学辞退して再募集を応募することはできませんでしたが、後期選抜で合格した県立高校の場合、合格者発表当日に、合格した高校に出身中学校等の校長を通して「入学辞退届」を提出することにより、再募集を志願できることとします。

#### ② 「最終の入学手続き」について

- ・県内私立高校については、県立高校の合格者発表後に実施する、入学予定者招集日等に参加して行う入学手続きを、最終の入学手続きとします。
- ・その他（県外等）の高校等については、各高校等への入学を確約する手続きを、最終の入学手続きとします。

#### ③ 職業学科や総合学科、体育、芸術の専門学科・コースについて

- ・これらの学科・コースは県内私立高校には設置されておらず、県立高校においてのみ、施設・設備、担当する教職員等、専門的に学習できる環境にあるため、「最終の入学手続き」をしていても志願できることとします。

職業学科：22校〔農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉〕8科

総合学科：7校〔いなべ総合、飯南、昴、鳥羽、あけぼの、名張、木本〕

体育・芸術の専門学科：体育〔稻生〕、応用デザイン〔飯野〕

普通科：文化教養（吹奏楽）コース〔白子〕

- \*「農業」：県内私立高校1校に設置されているが、少人数（25人）全寮制で、専願募集に限られていることから、農業科を希望する者の学びを保障するため、志願できる学科に含めています。

#### ④ やむを得ない事情について

- ・経済的な事情においては、「最終の入学手続き」を行った学校における学業の継続に困難が生じることが想定されるため、次の場合については、やむを得ない事情として、中学校等の校長が了承のうえで、志願できることとします。
  - 生活保護世帯や、住民税非課税世帯、就学援助制度の対象世帯（要保護、準要保護）等、国や県市町の行政から経済的な支援を受けている場合
  - 三重県高等学校等修学奨学金の貸与が内定している、又は、世帯の所得額が貸与要件を満たす場合
  - 家計の急変により、世帯の収入額が三重県高等学校等修学奨学金（緊急採用）の貸与要件を満たす場合
- ・校長ごとの判断に差が生じないように、「Q&A」集を作成する予定です。

#### 5 導入年度について

- ・新たな再募集の応募資格について、中学生や保護者、中学校教員が正しく理解できるよう、令和6・7年度の2年間で周知期間とし、令和8年3月に実施する選抜（現中学1年生が対象）から導入することとします。

#### 6 新たな応募資格を導入した後の検証について

- ・新たな応募資格導入後の経過を見ていくことが必要であるため、新たな応募資格にて継続して実施した後（入学した生徒が卒業する3年間の経過後）、令和11年度に検証を行うこととします。

【参考データ】

ア 令和5年度選抜における再募集の受検状況

志願先の学科	I			II			III			合計
	私立高校に最終手続きをした者			私立高校に合格したが最終手続きをしなかった者			私立高校合格しなかった者、または私立高校を受検しなかった者			
	職業学科	総合学科等	その他の学科	職業学科	総合学科等	その他の学科	職業学科	総合学科等	その他の学科	
北部	8	0	13	0	0	3	0	0	6	30
中部	8	3	11	2	1	0	2	4	2	33
南部	0	1	0	0	0	0	6	14	10	31
合計	16	4	24	2	1	3	8	18	18	94
	44			6			44			

※総合学科等には、体育、芸術の専門学科・コースを含む

イ 全国の再募集の実施状況

- ・全日制課程で再募集を実施している都道府県：40/47
    - 三重県と同じ応募資格（県立高校の合格者は受検できない）：26
    - どの高校にも合格または入学手続きをしていない者に限る：14
  - ・再募集の前に2回の選抜を実施している都道府県（※）：3
    - 三重県と同じ応募資格（県立高校の合格者は受検できない）：1（三重）
    - どの高校にも合格または入学手続きをしていない者に限る：2（山梨・愛知）
- （※）ほぼすべての高校で2回（前期・後期）の受検機会があり、かつ、再募集を欠員のあるすべての学校で実施している都道府県の数

ウ 経済的な支援に係る各種制度とその基準額

表の世帯構成は、両親と子（1人～4人）を想定

各種制度	基準額	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯
生活保護世帯	年間収入	240万	276万	324万	372万
住民税非課税世帯	年間所得	147万	182万	217万	252万
就学援助制度（準要保護）	年間所得	318万	339万	346万	359万
三重県修学奨学金の貸与要件	年間所得	390万	470万	580万	670万
三重県修学奨学金（緊急採用）の貸与要件	年間収入	590万	680万	830万	900万

\* 基準額は令和5年度時点のものであり、あくまで目安です。また、家族構成、居住地、家族の年齢、生活の状況等によって異なる場合があります。

\* 基準額のうち、「年間収入」は、その年に得た収入の合計額、「年間所得」は、支払金額から給与所得控除額などを差し引いた金額になります。

\* 就学援助制度（準要保護）は、四日市市の例です。市町によって基準額が異なります。

